

2021 年度 第 17 回神奈川産学チャレンジプログラム 実施要綱

一般社団法人神奈川経済同友会

はじめに

神奈川産学チャレンジプログラムは、一般社団法人神奈川経済同友会（以下、「同友会」という。）の会員が所属する企業および団体（以下、「企業」という。）と神奈川県内の大学が中心となって行う、産学連携による学生の人材育成を目的とした課題解決型研究コンペです。

本プログラムは、PBL（Problem Based Learning）の手法を応用し、企業が抱える経営課題をテーマにあげ、それに対して学生チームが自主、能動的に研究して実践的で実効性のある解決策を研究レポートとして提示するもので、実社会で発生している問題に具体的に取り組むことにより、問題解決能力の高い人材の育成につながります。

また、企業と学生とが1つのテーマに沿って交流を持ち、意思疎通を図ることにより、就職等でのお互いのミスマッチをなくし、学生にとっては生きたビジネスの世界を知り得ることとなり、企業にとっては学生のアイデアを事業のヒントとして活かせる好機ともなります。

I. 趣 旨

本プログラムは、企業が日常の経営課題の中から実践的な研究テーマを挙げ、神奈川県内に拠点を置く大学が中心となつて、各テーマにチャレンジする学生を募り、提出された研究成果に対して企業が審査を行い、優秀なレポートについては企業、大学、学生等の関係者による表彰式において、その努力、才能を評するものです。

本プログラムの特徴として、次の点が挙げられます。

1. 企業、大学、学生による産学連携の形で実施され、学生の自主的な参加による学生主体のプログラムです。
2. 多岐にわたるテーマは、社会・人文科学系あるいは技術系を問わず、学生にとり、広く研究が可能であり、企業の担当部署と連携して作業を進めていく過程が、学生個々の能力開発や自己啓発の場として活かされます。
3. 企業にとっては知名度のアップや学生の斬新なアイデアの取込み、優秀な人材の発掘、大学にとっては学内の活性化と企業が目指す方向性の認識等の波及効果が期待できます。

II. 経 緯

同友会の教育文化委員会では、2002 年 5 月、学生の職業や労働に対する意識と企業の求める人材とのギャップやミスマッチの解消のための諸施策を企業、大学へ提言しました。

2003 年 1 月末、県内 5 大学、すなわち横浜国立大学、横浜市立大学、関東学院大学、神奈川大学、東

海大学との間で産学連携のあり方を検討するための「神奈川産学懇談会」を発足させ、その連携の一つの試みとして、学生の柔軟な発想・創造性を引き出すことを目的に、2004年に「第1回神奈川産学チャレンジプログラム」をスタートさせました。その後、この事業は更に発展、充実し、大きな広がりを見せております。

2019年に実施した第16回神奈川産学チャレンジプログラムでは、32の企業から35の研究テーマの提示があり、これに対して21大学、231チーム、935人の学生から応募をいただきました。厳正な審査の結果、最優秀賞24チーム、優秀賞44チームが決定され、企業、大学、学生等の関係者約500人参加による表彰式において、表彰状と褒章金が贈呈され、その栄誉を称えました。

続く2020年の第17回神奈川産学チャレンジプログラムでは、前回は上回る21大学、35社からお申し込みを頂きましたが、同年4月の緊急事態宣言発令を受け、「大学・企業とも通常のエデュケーション・事業活動が困難な状況となったこと」や「プログラムを進めるうえで感染リスクが高いこと」から、残念ながら学生チーム募集前に中止とさせていただきました。

その後、新型コロナウイルス感染症が収束しないなか、大学・企業とも、デジタル化によるリモートやソーシャルディスタンスの確保といった、ウィズコロナのエデュケーション・事業活動が定着してきており、大学や企業から「オンラインを活用するなど学生の安全を確保することで本プログラムを実施してほしい」といった前向きなご意見も多く寄せられたことから、同友会教育文化委員会では、「安全・安心」を確保した運営のもとで、2021年、再度第17回として本プログラムを開催することといたしました。

Ⅲ. 実施概要

1. スケジュール

(1) 参加大学募集ならびに参加企業募集・テーマ募集

→ 2月15日(月) 募集開始、締切3月5日(金)

→参加を検討されている大学・企業には、同友会より、実施要綱、応募書類フォーマット等一式をお送りします。特に参加企業は、同時にテーマの提出がありますので、テーマの検討を早目にスタートしてください。

また、同友会は、会員に対し同友会HP等を通じて、募集開始の周知をいたします。

(2) 参加者説明会の開催 → 3月23日(火)

→同友会は、参加大学および参加企業に対して、本プログラムの説明会を開催します(オンラインでの開催を予定)。

(3) 参加大学における学生チームの募集 → 募集開始は説明会以降、締め切りは4月30日(金)

→参加大学は、説明会終了後、学生に対して参加の募集を行っていただきます。学生チームの応募は、PC、スマホを通じて行っていただきます(予定)。

(4) 研究テーマの決定 → 5月末までに決定

→同友会・参加企業・参加大学による調整を経て、学生チームに研究テーマを割り当て、その結果を参加企業および参加大学に報告します。

- (5) 参加企業による学生チームへの説明会 → 研究テーマ決定後から6月末までに実施
→参加企業は、テーマに関する説明会を、学生チームに対し速やかに実施してください（オンラインを利用する等、新型コロナウイルス感染症対策を可能な限り取ってください）。
- (6) 学生チームの研究レポート作成 → 作成期間は説明会終了後～9月末
→学生チームは、説明会終了後、9月末にかけて、研究レポートの作成を行います。完成した研究レポートは、9月末までを目途に所属大学に提出します。
- (7) 参加大学より同友会に研究レポート提出 → 同友会への提出期日 10月5日（火）
→参加大学は、提出された研究レポートをとりまとめて、期日までに同友会へ提出します。
- (8) 参加企業による審査 → 審査期間は10月中旬～、同友会への審査結果提出期限 11月15日（月）
→同友会より参加企業あて研究レポートを提出します。参加企業は、レポート受領後、レポート審査、プレゼン審査を実施し、11月15日までに審査結果を同友会に提出していただきます（プレゼン審査においても、オンラインを利用する等、新型コロナウイルス感染症対策を可能な限り取ってください）。
- (9) 同友会より審査結果を参加大学・学生に通知 → 11月下旬頃を予定
→同友会は、該当チームの審査結果を参加大学に通知します。参加大学は、審査結果を各チームに通知していただきます。
- (10) 表彰式 → 12月15日（水）
→表彰式には、最優秀賞および優秀賞を受賞したチームを招待し、参加企業より賞状・賞金を授与していただきます。会場はみなとみらいの「パシフィコ会議センター」を予定しております（新型コロナウイルス感染症の状況によって、開催方法等が変更となる場合があります）。

2. 学生チーム編成

- (1) 学生チームの構成人数は、**4～6人**とします。
- (2) 学生チームには、リーダーとサブリーダーを1人ずつ置いてください。
- (3) 同じ学生が、複数のチームに所属することはできません。
- (4) 研究テーマ決定後にメンバー変更のあった場合および途中棄権する場合、学生チームは、大学・企業に速やかにご連絡ください。なお、レポート提出後のメンバー増員は、やむを得ない場合を除き、認められません。

3. 研究テーマの決定

- (1) 学生チームが取り組むテーマは、学生チームの希望をもとに、参加企業、同友会が選定します。
- (2) 参加企業の受入チーム合計数を上回る応募があった場合は、大学に応募チーム数の調整をお願いすることがあります。調整後においても、最終的にテーマを割り当てられない学生チームが出てくる場合がありますので、予めご了承ください。

4. 審査

- (1) 学生チームから提出されたレポートは、大学・同友会を経由して、参加企業に提出されます。企業提出後の内容変更はできません。
- (2) 参加企業には、学生チームからのレポート受領後、遅滞なく審査を行っていただきます。
- (3) 審査方法・審査基準は、レポート審査とプレゼンテーション審査を組み合わせ、各参加企業にご決定ください。なお、審査は必ず複数人で行うようお願いします。
- (4) プレゼン審査のスケジュールは、学生チームの学業も考慮しつつ、各参加企業にご決定ください。また、学生に対する審査日程の連絡は速やかに行ってください。
- (5) 参加企業は、審査結果を得点化し、入賞（「最優秀賞」、「優秀賞」）チームを選定してください。該当なしを含め、各賞の数は参加企業がお決めください。
- (6) 上記の賞以外に、参加企業が独自に表彰を行うことができます。また、同友会が独自に表彰を行うことがあります。
- (7) 参加企業は、入賞チーム、選外チームの如何にかかわらず、個別審査表の講評欄への記載等を通じて、学生への審査結果のフィードバックの充実に努めてください。

5. 費用負担

- (1) 参加大学には、本プログラムへの参加費として、1校あたり8万円（ただし参加チームが5チーム以内^(注)の場合は6万円）のご負担をお願いします。[→地域連携センターにて負担](#)
(注) 参加チーム数は、取り組みテーマの確定した時点のチーム数とします。
- (2) 参加企業には、本プログラムへの参加費として、1社あたり8万円のご負担をお願いいたします。
- (3) 参加費は、参加チームの取り組みテーマ確定後、各参加大学、参加企業宛、請求させていただきます（6月頃を予定）。
- (4) 入賞チームには、参加企業より賞金（最優秀賞10万円、優秀賞5万円、現金もしくは金券）を、表彰式にて授与していただきます。
- (5) レポート作成に係る研究調査費（印刷費、通信費、交通費等）は、各チームの自己負担を原則としますが、参加企業からの要請に基づき実施するもの等に関しましては、企業負担もご検討下さい。

6. 遵守事項

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策の徹底
 - A. 参加企業・大学・学生は、それぞれが適切な新型コロナウイルス感染症対策をとることを約束します。
 - B. 参加企業は、オンライン等による方法で、学生との接触を最小限にする方策をとり、学生の安全を確保することを約束します。
 - C. 参加大学は、学生が本プログラムに参加するにあたって、新型コロナウイルス感染症拡大につながる行動をとらないよう、指導を徹底します。
- (2) 著作権の帰属
 - A. 参加チームのレポート（以下、プレゼン審査の資料を含む）の著作権等知的財産権に関する全ての

権利は、参加企業に帰属するものとします。

B. 参加チームはレポートに関し、著作者人格権を行使しないものとします。

(3) 個人情報管理の徹底

A. 参加企業は、学生の個人情報を厳正に管理し、本プログラム終了後は各企業が責任をもって速やかに廃棄します。

B. 取得した個人情報は、本プログラム以外の用途で使しないよう徹底します。

(参考) 神奈川経済同友会「個人情報保護方針」

(4) その他

A. 参加大学・企業は、届出事項等の変更があった場合、学生チームからメンバー変更等の報告があった場合、その他運営上共有化しておいた方が良くと判断される事由が生じた場合には、速やかに同友会に報告します。

B. 参加チームは、実施要綱・実施細則に違反する行為、アイデアの盗用、第三者の知的財産権の侵害、その他法令違反、迷惑行為等を行ってはならない。これらの事実が認められたときは、審査対象外あるいは受賞取り消しとなる場合があります。

C. **新型コロナウイルスの感染状況によって、本実施要綱・各細則に記載の事項がやむを得ず変更となる場合があります。その場合には、速やかに同友会よりご連絡をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。**

以 上

第17回神奈川産学チャレンジプログラム 実施細則（参加学生用）

一般社団法人神奈川経済同友会

1. 学生チームの募集

（1）応募方法

- ・参加大学から学生に対して参加の募集を行います。
- ・参加を希望する学生チームは、大学より配布される「第17回神奈川産学チャレンジプログラム 応募フォーム（以下「応募フォーム」という）」に必要事項を入力し、神奈川経済同友会宛、**2021年4月30日（金）17時**までに送信してください。
- ・応募にあたっては、本実施細則の定めのほか、大学からの指示事項も十分確認のうえ、手続きを進めてください。
- ・フォームの入力に際しては、以下の留意点をよく読み、時間的余裕を持って入力してください。特にメールアドレスや電話番号の誤記入がないか、メンバーのお名前の漢字に間違いがないか、必ず確認してください。記載に不備があると、その後の手続きに支障が生じますのでご注意ください。

【重要】入賞した場合、表彰状は参加申込書をもとに作成されます。入力に間違いがあると、表彰状にそのまま反映されてしまいます。毎年、お名前の漢字の間違いが散見されます。チームメンバーのお名前は、必ず本人が間違いのないことを確認してから、提出していただくようお願いします。

実際のフォーム入力画面

1ページ目

第17回神奈川産学チャレンジプログラム 応募フォーム

（注）以下のメールアドレスは本応募フォームの送信後に自動的に確認メールが届きますので、内容をすぐに確認できる方（例：チームリーダー）のメールアドレスを入力してください。

*必須

メールアドレス*

メールアドレス

この質問は必須です

必須項目が未入力です
エラーメッセージが出ます

4ページ目

5-3 プログラム参加にあたっての抱負やプログラムに期待すること（200文字以内）

回答を入力

3つ以内で選ぶ項目において
3つ以上選択すると
エラーメッセージが出ます
(必ず修正してください)

5-4 第二希望のテーマを3つ以内で選んでください*

- ☐ T01 ITを活用した教育現場への支援サービスの提案
- ☐ T02 ウェルシアが生活に欠かせない地域インフラ企業になるための提案
- ☐ T03 デジタル活用により投資初心者向けサービス等、投資家層拡大を図れる施策をご提案ください
- ☐ T04 「働く人が健康であり続ける社会を作る」ための神奈川県内における取組みプランの提案

質問項目は以下のとおり多岐にわたっております。回答内容を途中で保存することはできないので、あらかじめ回答を用意してから入力を開始してください。（特に、下のマーカー部分はそれぞれ400字以内・200字以内の文章による回答となりますので、入力前に準備しておく必要があります）

全5ページ

○メールアドレス（※原則チームリーダーのメールアドレスを入力してください）

○大学等

- 所属大学
- 学部、学科
- チームの構成人数
- 指導教員（いない場合は不要）

○チームメンバー

- | | |
|----------------|--------------|
| ・リーダーとサブリーダー | ・その他メンバー |
| - 氏名、フリガナ | - 氏名、フリガナ |
| - 学籍番号(学生番号) | - 学籍番号(学生番号) |
| - 学年 | - メールアドレス |
| - 電話番号(ハイフンなし) | |
| - メールアドレス | |

○希望するテーマ

- 第1希望
- 第2希望(3つ以内)
- 第1希望のテーマを選んだ理由(400字以内)
- プログラム参加にあたっての抱負やプログラムに期待すること(200字以内)
- いずれも希望が通らなかった場合のプログラム参加の有無

○参加意思表示の確認（いずれもチェックボックス）

- 実施要綱・実施細則の内容をすべて確認しました。
- 実施要綱記載の遵守事項（特に新型コロナウイルス感染症対策）を必ず守ります。
- すべての入力が完了したので、参加を申し込みます。

- ・入力を完了すると、以下のような自動返信メールが送られてきます。

第17回神奈川産学チャレンジプログラム応募フォーム

Google フォーム

「[第17回神奈川産学チャレンジプログラム応募フォーム](#)」にご記入いただきありがとうございます

次の内容を受信しました:

[回答を編集](#)

もし回答を修正したい場合、
回答受付期間内に
こちらのリンクから修正可能です。

第17回神奈川産学チャレンジプログラム応募フォーム

(注1)
以下のメールアドレスは本応募フォームの送信後に自動返信メールが届きますので、
内容をすぐに確認できる方(例: チームリーダー)のメールアドレスを入力してください。

(注2)
自動返信メールには
・ 回答内容
・ 回答を編集したい時のリンク先
が記載されています。

間違ったメールアドレスを入力すると自動返信メールが届かず、
回答内容の確認や回答を編集することができませんので、
必ず正しく入力されているか確認し、次の質問へお進みください。

メールアドレス *

[yourmailaddress@xxx.com](#)

2.大学名等

所属大学、学部学科、チームの構成人数、指導教員

2-1-① 所属する大学名を選択してください *

D01 青山学院大学

入力した内容や
選んだ選択肢などが表示され、
回答を確認できます。

(2) 学生チーム編成

- ・実施要綱「2. 学生チーム編成」をご確認のうえ、チームを編成してください。

実施要綱 2. 学生チーム編成

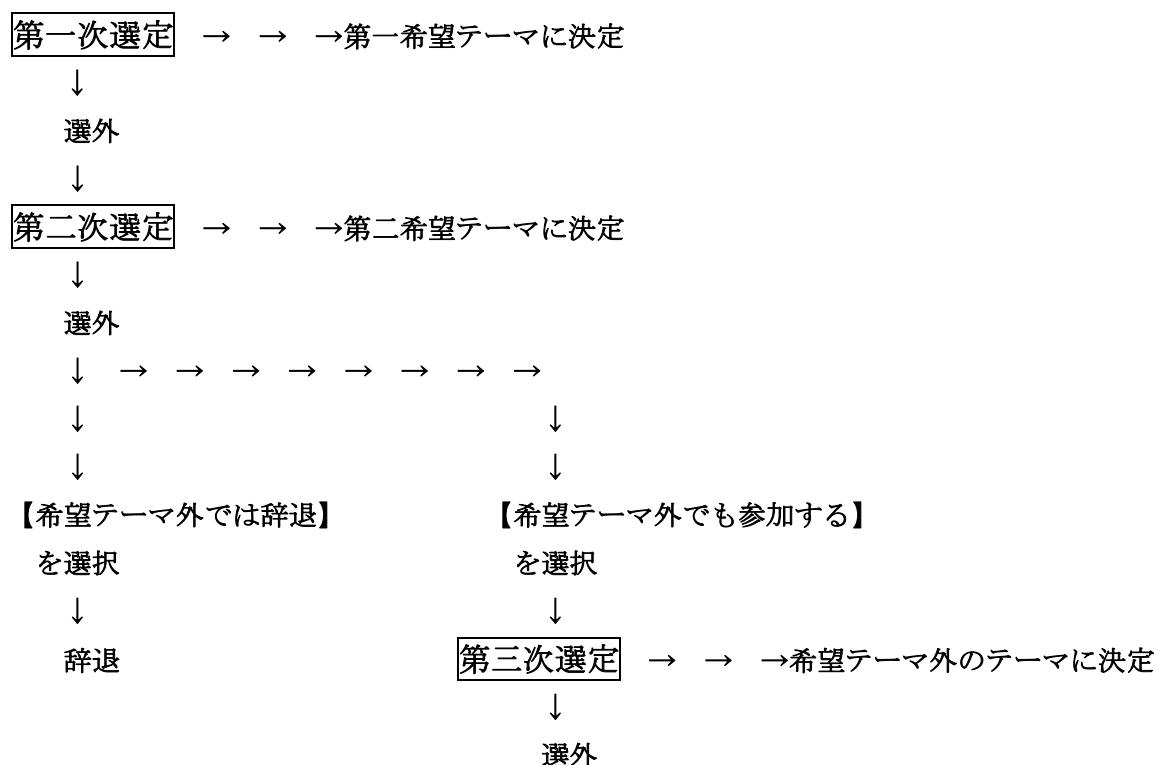
- (1) 学生チームの構成人数は、**4～6人**とします。
- (2) 学生チームには、リーダーとサブリーダーを1人ずつ置いてください。
- (3) 同じ学生が、複数のチームに所属することはできません。
- (4) 研究テーマ決定後にメンバー変更のあった場合および途中棄権する場合、学生チームは、大学・企業に速やかにご連絡ください。なお、レポート提出後のメンバー増員は、やむを得ない場合を除き、認められません。

- ・チーム名はチームリーダーの姓（苗字）とします（例：チームリーダー「鈴木二郎」の場合、「鈴木チーム」）。
- ・参加チームにはグループ番号が付番されます（「G〇〇〇〇〇」）。グループ番号は同友会より大学に通知しますので、自分のチームの番号を大学より確認してください。

（３）研究テーマの選択

- ・研究テーマについては、応募フォームに、チームメンバーに関する情報とともに、「第一希望のテーマ、および希望理由、プログラム参加にあたっての抱負やプログラムへの期待」、「第二希望テーマ（３つ以内）」、「第一希望または第二希望テーマ以外になった場合でも参加するか否かの意思確認」を入力し、同友会宛提出します。
- ・第一希望テーマ、第二希望テーマの選択にあたっては、「第 17 回テーマ集」をよく読んで、決めてください。
- ・第一希望テーマにもとづき、学生チームの研究テーマを選定します。第一希望チーム数が受入チーム数に比べ多数となったテーマについては、5 月中旬をめどに参加企業にチーム選定をしていただきます（以上、第一次選定）。
- ・第一次選定の選外チームについては、枠空きテーマの中から、第二希望テーマをもとに同友会がチーム選定を行います（以上、第二次選定）。
- ・第二次選定の選外チームは、上記意思確認により分かります。
 - 「第一希望、第二希望で割り当てられなかった場合は辞退」を選択したチームは、辞退となります。
 - 「第一希望、第二希望以外のテーマでも参加したいので、事務局にテーマ選定を一任」を選択したチームは第三次選定へ進みます。
- ・第三次選定 第二次選定で選外となったチームについて、希望テーマの同一ジャンルの枠空きテーマのなかから同友会がチーム選定を行います（結果的に希望テーマの同一ジャンル以外の研究テーマとなる場合もあります）。
- ・応募チーム数が参加企業の受入れチーム数合計を上回っている場合には、第三次選定を経ても研究テーマを割り当てられず、テーマ選定を一任している場合であっても、最終的にご参加いただけない可能性がありますのでご了解ください。
- ・以上を通じた選定結果につきましては、5 月末までを目標に、同友会から、参加大学、参加企業あてご連絡させていただきます。大学は学生チームあて、選定結果を連絡します。

研究テーマ決定のプロセス



2. チームへの説明会

- ・参加企業は、参加チームに対して6月末までを目途に説明会を実施いたします。今回は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、オンラインによる説明会を開催する企業があります。参加企業より案内が来ますので、指示に従ってください（企業によって日程は異なります）。
- ・説明会では、企業概要、テーマ設定の背景、調査・研究のポイントと期待する内容、知的財産権の取扱い、審査基準、賞金の内容等について説明されます。

3. レポートの作成・提出

- ・レポートの作成期間は、チーム説明会後から 9月末までです。提出締切日、提出方法は大学の指示に従ってください。
- ・レポートは、必ず「第17回神奈川産学チャレンジプログラム レポート作成規程」に従って作成してください。なお、企業より、「レポート作成規程」外の指示があった場合（例えば、本文枚数を30ページ以内とする、等）は、その指示に従ってください。
- ・提出されたレポートは、参加企業に帰属するものとし、返還はいたしません。
- ・各チームが提出したレポートの外部公開については、参加企業の指示に従ってください。

4. 参加企業の審査

- ・参加企業による審査は、10月中旬から11月中旬頃を予定しています。
- ・審査方法、評価方法等は、企業ごと異なります。プレゼンテーション審査を行う場合の日程等を含め、詳細については、「第17回神奈川産学チャレンジプログラム 提示テーマ集」および参加企業の説明会時にご確認ください。

5. 審査結果の通知

- ・参加大学は、各チームに対して11月下旬に「個別審査表」により審査結果を通知します。
- ・個別審査表には、入賞（最優秀賞、優秀賞）または選外の記載があります。入賞のうち、最優秀賞・優秀賞の別は、表彰式にて発表する予定です。

6. 表彰式

- ・入賞チームは、12月15日（水）に開催する表彰式にご招待させていただく予定です。詳細が確定致しましたら、大学を通じてご連絡させていただきます。
- ・なお、新型コロナウイルスの感染状況によって、開催方法が変更となる場合があります。その場合、最優秀賞・優秀賞の発表方法も変更となる可能性があります。

7. その他

- ・実施要綱「6. 遵守事項」に記載していますが、新型コロナウイルス感染症対策の徹底をお願いします。マスクの着用等、日頃の対策はもちろんのことですが、特に企業を訪問する際には、事前に検温をおこなう、体調が優れないときには連絡のうえ訪問を差し控える等、徹底してください。
- ・企業からメール、電話等で連絡が入った場合には、速やかなレスポンスに努めてください。逆に、入るべき連絡がなかなか入らない場合には、企業の担当者に早めにご確認ください。
- ・新型コロナウイルスの感染状況によって、実施要綱・各細則に記載の事項がやむを得ず変更となる場合があります。参加チームに関係する変更があった場合には、大学、もしくは企業を通じてご連絡させていただきます。

以 上

第 17 回神奈川産学チャレンジプログラム レポート作成規程

一般社団法人神奈川経済同友会

1. レポートの構成

レポートは、表紙、目次、要旨、本文、注釈・資料の順に構成してください。

(1) 表紙 (1 ページ)

表紙には、グループ番号、テーマ提示企業名、テーマ名、大学名、チーム名、リーダー、サブリーダー、それ以外のメンバー全員の氏名・学部・学科・学年それぞれ記載してください。

(2) 目次 (2 ページ)

ページ 1 枚で作成してください。

(3) 要旨 (3 ページ)

本文の要旨をページ 1 枚にまとめてください。

(4) 本文 (4 ページ以降)

本文枚数は、20 ページ以内にまとめてください。なお、この枚数には表紙、目次、要旨、注釈・資料は含みません。

(5) 注釈・資料

注釈・資料は 10 ページ以内にしてください。また、参考文献や引用については、必ず出所・出典を明記してください。

2. レポートの作成に関する注意事項

・ レポートの作成に際し引用を行う場合は、以下の文化庁ルールに従ってください。

ア 既に公表されている著作物であること、

イ 「公正な慣行」に合致すること

ウ 報道、批評、研究などのための「正当な範囲内」であること

エ 引用部分とそれ以外の部分の「主従関係」が明確であること

オ カギ括弧などにより「引用部分」が明確になっていること

カ 引用を行う「必然性」があること

キ「出所の明示」が必要（コピー以外はその慣行があるとき）

- ・実施要綱・実施細則に違反する事実やアイデアの盗用、第三者の著作権やその他の知的財産権の侵害、その他不正があった場合は、審査対象外あるいは受賞取り消しとなる場合があります。
- ・「要旨」は、レポートの内容（目的、方法、結論など）を簡潔にまとめてください（「序論」と混同しているのか、結論が書かれていない等、「要旨」と異なる例が散見されます）。

3. レポートの体裁

- ・表紙は、本規程添付のフォーマットをご使用ください（フォーマットの体裁は変更不可）。グループ番号は、神奈川経済同友会より大学宛通知された番号です。テーマ番号およびテーマ名は間違いないように記載してください。
- ・ページ番号は表紙を1ページ目とし、ページ下部中央にふってください。
- ・レポートは、表紙、目次、要旨、本文、注釈・資料の順番とし、1つのPDFファイルにまとめてください。
- ・PDFのファイル名は、「テーマ番号+グループ番号+大学名+チーム名」としてください。
→ （例）T08G01021 青学山本チーム、T02-1G11030 専修木村チーム
- ・テーマ番号、グループ番号を「半角」、大学名、チーム名を「全角」としてください。

4. レポートの提出

- ・レポートの提出方法は大学の指示に従ってください。
- ・提出締切日は大学が設定しますので、それまでにご提出ください。
- ・一度提出したレポートの内容変更はできません。
- ・レポートを大学に提出する前に、「提出レポートチェック表（学生用）」にてセルフチェックを行って、不備のないことを確認してください（チェック表は提出不要）。当規程に反するレポートは、失格となることがあります。

第17回神奈川産学チャレンジプログラム 研究レポート

グループ番号	
--------	--

企業名		テーマ番号	
テーマ名			

大学名		チーム名	チーム
-----	--	------	-----

※チーム名はリーダーの苗字です

<メンバー>

【リーダー】

氏名					
学部名		学科名		学年	

【サブリーダー】

氏名					
学部名		学科名		学年	

【メンバー】

氏名					
学部名		学科名		学年	

氏名					
学部名		学科名		学年	

氏名					
学部名		学科名		学年	

氏名					
学部名		学科名		学年	

提出レポートチェック表（学生用）

チェック日

グループ番号

チーム名

チーム

項目（※1）	チェック （レ）
レポートの表紙は所定のフォーマットを使用し、記載事項がもれなく記入されているか	
目次・要旨は各 1 ページ、本文は 20 ページ以内、注釈・資料は 10 ページ以内となっているか	
表紙を 1 ページ目とし、ページ下部中央にページ番号をふっているか	
レポートは、表紙、目次、要旨、本文、注釈・資料の順番とし、ひとつの PDF ファイルにまとめられているか	
PDF ファイル名は「テーマ番号+グループ番号+大学名+チーム名」となっているか（※2）	
チームメンバーが報告なく、変更となっていないか（→報告ない場合は、速やかに大学に報告）	

→すべてにチェックが入ったことを確認して大学に提出

（※1）企業より規程外の指示があった場合には、指示内容に読み替えてチェックしてください。

（※2）（例）T08G01021 青学山本チーム、T02-1G11030 専修木村チーム

テーマ番号、グループ番号を「半角」、大学名、チーム名を「全角」としてください。

大学名は以下の略称でご記入ください。

大学名	略称	大学名	略称
青山学院大学	青学	桐蔭横浜大学	桐蔭
神奈川大学	神大	東海大学	東海
神奈川工科大学	神工	東京都市大学	都市
鎌倉女子大学	鎌女	東洋英和女学院大学	東洋
関東学院大学	関東	フェリス女学院大学	フェリス
國學院大學	國學	文教大学	文教
相模女子大学	相模	明治大学	明治
産業能率大学	産能	横浜国立大学	横国
松蔭大学	松蔭	横浜商科大学	横商
清泉女子大学	清泉	横浜国立大学	横市
専修大学	専修		